

## 施工仕様書

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	放置時間hr(20℃)	塗付量
前処理	旧塗膜に付着している水分、汚れを除去する。剥離対象以外の箇所には、ポリエチレンフィルム・粘着テープ等を用いて被覆養生する。 屋外作業の場合は、剥離剤が飛散するのを防止する為、シート養生を行う。				
塗付	キクスイ アクアリムバーエコ 主材:16kg 無希釈	エアレススプレー、刷毛 リシガン、ローラー	予備試験の結果をもとに、塗付量、軟化養生時間、工数を決定する 塗付量:0.5kg/m <sup>2</sup> (0.5mm厚)~1.5kg/m <sup>2</sup> (1.5mm厚) 軟化養生時間:24~48時間		
軟化養生	—————	—————			
除去	—————	スクレーパー等 剥離器具・工具			
廃塗膜処理	剥離した塗膜は、塗膜に含まれる有害物質の種類、量に応じて適切に破棄する。				
洗浄	クリーナー	ウェスなど 剥離後別途、プラスト、動力工具による 素地調整を行う場合には不要			
素地調整	—————	電動工具など	当事者間の協議による		
再塗装	剥離面へのごみが付着、さびなどが発生する前に再塗装を開始する。				

※剥離する塗膜の仕様（塗膜系、膜厚など）を調査し、事前に予備剥離試験を行い、剥離剤の使用量、軟化養生時間などを確認してください。

## 剥離後の処理方法

剥離した塗膜は一般産業廃棄物として処理してください。但し、アスベストやPCB、鉛等が含まれた塗膜は特別管理産業廃棄物として処理してください。



特別管理産業廃棄物 ▶

## 荷姿

キクスイ アクアリムバーエコ (Aタイプ・Bタイプ)

NET 16kg/缶入 4kg/缶入

## 適用塗膜

軟化しやすい		軟化しにくい	軟化しない
鉛系さび止めペイント フェノール樹脂 MIO 塗料 エポキシ樹脂 MIO 塗料 長油性フタル酸樹脂塗料 塩化ゴム系塗料	変性エポキシ樹脂塗料 タールエポキシ樹脂塗料 有機ジンクリッチペイント エポキシ樹脂塗料	鉛丹さび止めペイント 超厚膜形エポキシ樹脂塗料 ウレタン樹脂塗料 ふっ素樹脂塗料	無機ジンクリッチプライマー 無機ジンクリッチペイント 無溶剤型変性エポキシ樹脂塗料 ガラスフレーク塗料

※錆、黒皮の除去は不可

## 注意事項

- 施工
  - 事前調査
    - 既存塗膜の種類・構成・有害物質の有無、塗り替え回数・膜厚・劣化度合い、剥離面の形状を確認して下さい。
    - 材料は無機系、無溶剤型、ガラスフレーク系塗料の剥離には適していません。
  - 予備試験
    - 予め旧塗膜の剥離状態を把握するため、旧塗膜にキクスイ アクアリムバーエコを塗付し、軟化の程度、塗付量・放置時間などを確認、決定して下さい。
  - 前処理
    - 旧塗膜に付着している水分、汚れなどを除去して下さい。
    - 剥離対象以外の箇所には、ポリエチレンフィルム、粘着テープ等を用いて養生して下さい。
  - 塗布
    - 材料は、希釈、電動攪拌機による攪拌をせずにご使用下さい。
    - エアレススプレー・リシガン・ローラーまたは刷毛などを用い、ムラにならないよう均一に塗り付けて下さい。
    - 放置時間が長い場合などは、塗り付け面にポリエチレンフィルムなどを貼り乾燥を防止して下さい。
    - 接合部やボルト、リベット部は平滑部より厚膜であるため、剥離剤の厚付けが必要な場合があります。
    - 剥離作業時に用いる工具が入らない部位には剥離剤を塗布しないで下さい。
  - 除去
    - 十分に材料が浸透し、軟化・膨潤するまで放置して下さい。
    - 旧塗膜をスクレーパーなどで除去して下さい。
    - 一度で除去できない場合は、材料を再度塗り付けて除去して下さい。
    - 剥離剤による錆や黒皮の除去はできないため、プラストや電動工具により除去して下さい。
  - 洗浄
    - キクスイ アクアリムバーエコが残った状態で塗装を行なうと膨れなどの不具合や密着不良のおそれがあります。旧塗膜を除去した後、クリーナーを用いて下地のぬめりが無くなるまで十分にふき取って下さい。
  - 素地調整
    - 素地調整の種類は当事者間(発注者、塗料メーカー、施工会社)で協議して下さい。
  - 保護
    - 作業員の安全のため、有機溶剤中毒予防規則に準じた保護具を着用して下さい。
    - ゴム・プラスチック類を軟化・膨潤させるので、必要な箇所は養生を行って下さい。
    - 植木などの保護のため、シートを覆い排水や塗膜カスが掛からないようにして下さい。
  - 気象条件
    - 降雨、降雪、結露などのおそれのある場合及び強風時は施工を避けて下さい。
    - 施工場所の気温が5℃以下の場合は、軟化しないことがありますので、施工を避けて下さい。
    - 湿度85%以上では施工を避けて下さい。
  - 材料保管
    - 材料は、一時放置でも、直射日光下での保管は避けて下さい。
    - 保管時は確実にキャップをして、容器を密閉して保管して下さい。
    - 旋錠して保管して下さい。
    - 材料を取り扱う場合は、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
    - 容器を転倒させる、落下させる、衝撃を加える、または引きずるなど、粗暴な行為をしないで下さい。
  - その他の注意事項
    - 施工器具等の洗浄水が、河川に流出したり、土壌にしみ込まないようにして下さい。
    - 除去した塗膜は産業廃棄物の廃プラスチック類に準じた処理をして下さい。
    - 製品の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS(安全データシート:JISMSDS)を参照して下さい。

# 新 環境配慮型剥離剤

# キクスイ アクアリムバーエコ

NETIS登録番号 CB-180010

## 仕上材メーカーが作る仕上材のための剥離剤

構造物・建築物などに塗装された各種塗膜を、  
高生分解性環境配慮型剥離剤によって  
膨潤状態にしてから撤去します。

## 菊水化学工業株式会社

本社/名古屋市中区錦2丁目19番25号 日本生命広小路ビル  
☎052-300-2222(代)

ホームページ <https://www.kikusui-chem.co.jp/>



仙台支店 ☎ 022-706-5710 関西支店 ☎ 06-7668-5320  
東京支店 ☎ 03-3981-2500 福岡支店 ☎ 092-935-4610  
名古屋支店 ☎ 0568-69-5200

kikusui

# 新 環境配慮型剥離剤

## キクスイ アクアリムーバーエコ

Aタイプ 中性タイプ：エポキシ系の塗膜に推奨

Bタイプ アルカリ性タイプ：フタル酸系の塗膜に推奨

従来、橋梁等の塗替えには高級アルコール系の剥離剤が大きな割合を占めていましたが、2014年、2015年と塗替え工事現場にて火災事故が起こり、再発防止策として使用材料の見直しが検討されました。その結果、平成28年9月に土木鋼構造物用塗膜剥離剤ガイドライン(案)が刊行され、剥離剤の水系化が加速しています。

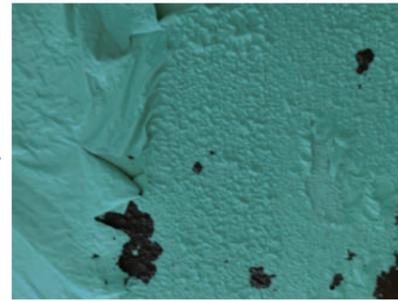
### 工程



剥離剤塗布



塗付直後



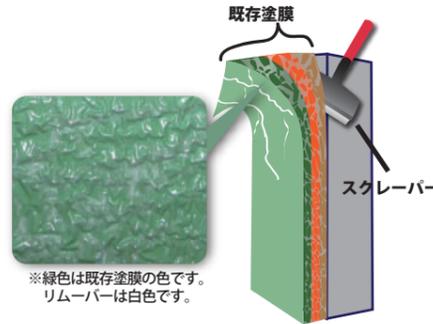
放置



スクレーパーによる剥離作業



剥離後の塗膜



※緑色は既存塗膜の色です。  
リムーバーは白色です。

キクスイ アクアリムーバーエコは、塗付した部分が白いので塗り残しを防ぎます。厚付け可能なので、成分がしっかりと浸透します。

厚付けできて、旧塗膜をしっかりと浸透・膨潤させるので、塗膜を簡単に剥離できます。剥離塗膜が大きく剥れるので回収・廃棄作業が簡易です。

### 有害物質に関する法令① (環境省)

ポリ塩化ビフェニル廃棄物(PCB)の適正な処理の推進に関する特別措置法施工令により、PCBを含む塗膜は、2027年3月までに処分委託を行わなくてはなりません。**既設塗膜の完全な除去が必要となります。**

### ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法 施行日：平成17年10月1日

第一章 第一条 この法律は、ポリ塩化ビフェニルが難分解性の性状を有し、かつ、人の健康及び生活環境に係る被害を生ずるおそれがある物質であること並びに我が国においてポリ塩化ビフェニル廃棄物が長期にわたり処分されていない状況にあることにかんがみ、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管、処分等について必要な規制等を行うとともに、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の処理のための必要な体制を速やかに整備することにより、その確実かつ適正な処理を推進し、もって国民の健康の保護及び生活環境の保全を図ることを目的とする。

第十四条 保管事業者は、ポリ塩化ビフェニル廃棄物(高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。以下この条及び次条において同じ。)の処理の体制の整備の状況その他の事情を勘案して政令で定める期間内に、そのポリ塩化ビフェニル廃棄物を自ら処分し、又は処分を他人に委託しなければならない。

### ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法施工令 施行日：平成28年8月1日

第七条 法第十四条の政令で定める期間は、法の施行の日から平成三十九年三月三十一日までとする。

### 有害物質に関する法令② (厚生労働省)

塗料の成分について鉛等の有害物が確認された場合は、鉛中毒予防規則等関係法令に従い、**湿式による作業の実施、作業主任者の選任と適切な作業指揮の実施、有効な保護具の着用が必要。**

### 鉛等有害物を含有する塗料の剥離やかき落とし作業における労働者の健康障害防止について

3 2により、当該塗料の成分について鉛等の有害物が確認された場合は、当該塗料の剥離等作業を行う事業者は、鉛中毒予防規則等関係法令に従い、湿式による作業の実施、作業主任者の選任と適切な作業指揮の実施、有効な保護具の着用等を実施すること。

## 特長

# キクスイ アクアリムーバーエコは、PCB、鉛含有塗膜の湿式剥離性を追求した製品です。

### ① 安全性

鋼道路橋などの重防食塗装系の旧塗膜を安全に除去・回収・廃棄できます。また、引火点が高いため安全に使用できます。毒性の高いジクロロメタンやシックハウス症候群の原因となるNMPを含みません。また、有機溶剤中毒予防規則(有機則)対象物質を含みません。水系剥離剤のため、より安全な作業環境が確保可能となりました。

### ② 環境配慮型製品

- ・ 高生分解性 (94%)  
(※土木ガイドライン規定：60%以上)
- ・ 低魚毒性 (370ppm)  
(※土木ガイドライン規定：10ppmより大きい)

排水中、土壌に付着した剥離剤は土中の細菌が分解処理するため、無害化しやすくなっています。

### ③ 高塗着性で工期短縮

当社得意のレオロジーコントロールで高塗着を実現しました。垂れづらく、1回で多めに塗付できるので、塗付・剥離の繰り返し工程が少なくでき、時間や手間を省けます。

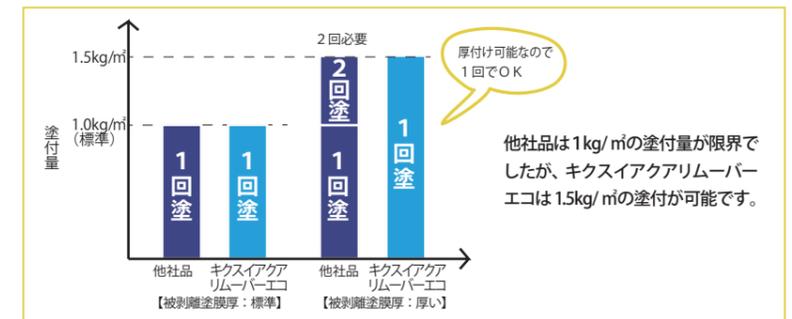


他社品



アクアリムーバーエコ

施工方法：ローラー、塗分量：500g/㎡



### ④ 低温安定性

低温での安定性に優れるため、冬季の凍結による品質低下が起こりにくいです。



他社品凍結



アクアリムーバーエコ凍結せず浸透

アスベスト含有建築用仕上塗材に対しても、水系剥離剤として、より安全な作業環境を提供できます。